

TAC FP実務修習講座 16期

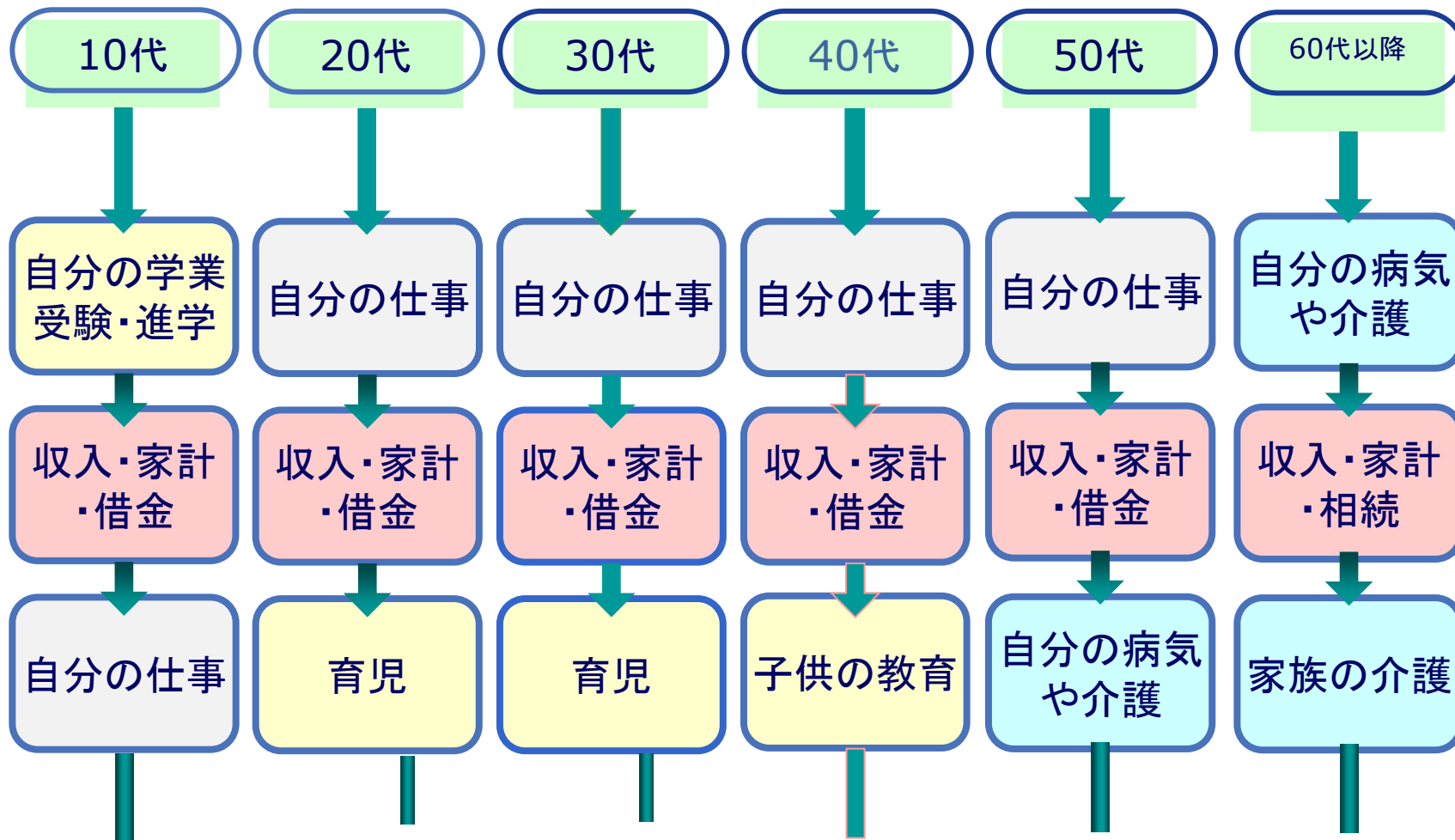
ガイダンス

FP実務修習講座で得られるスキル

メンター 紀平正幸

現代社会の悩みやストレスの要因

◎年代別の悩みやストレス要因の順位



資料:厚生労働省「国民生活基礎調査」2010年を基に作成。要因のうち人間関係を除く

求められる個人の自立したライフプラン



FPの力量アップに必要な「ファイナンシャルヘルス」

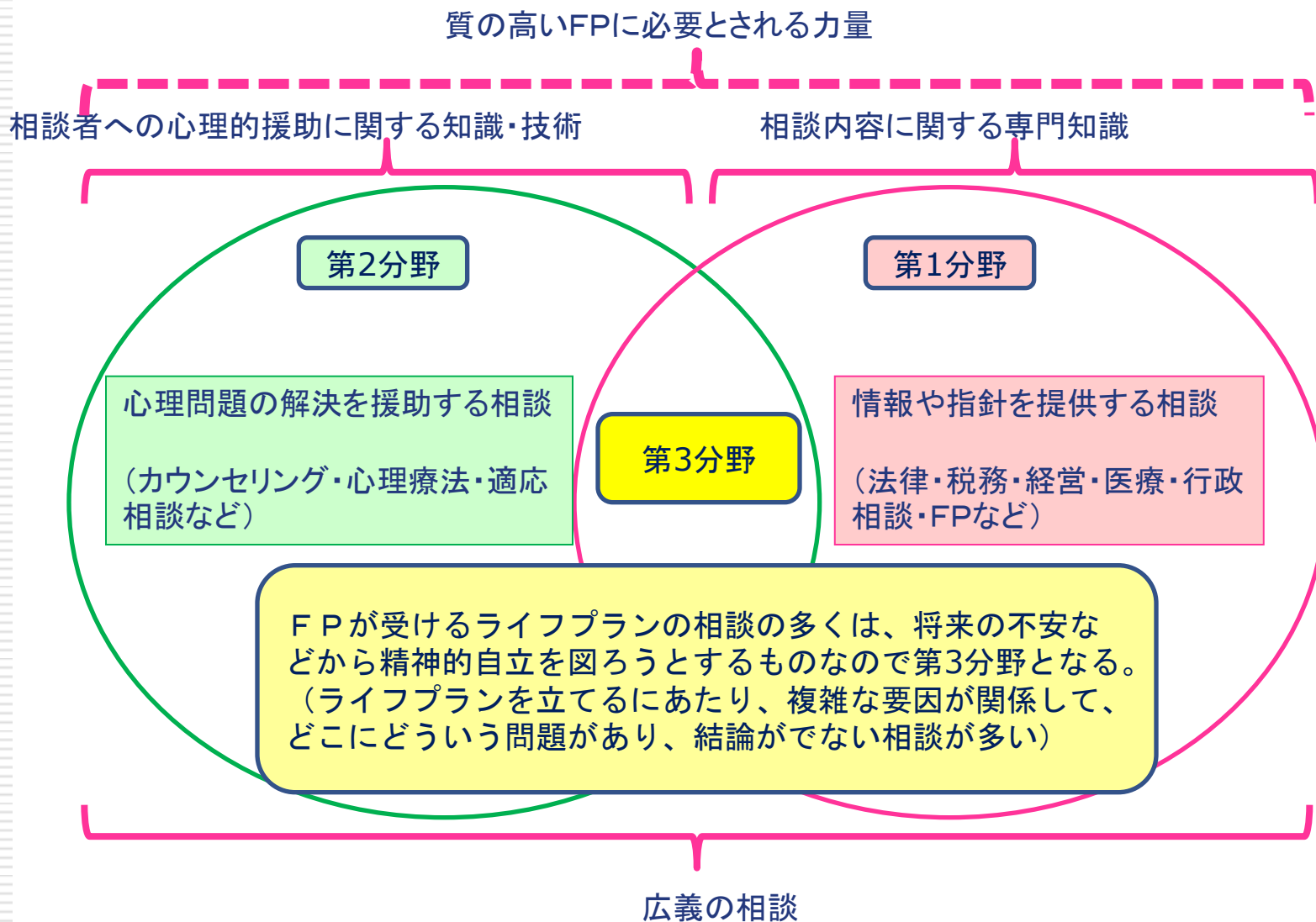
同じ家族構成で同じ年収なら、家計収支が同じになるといったことはない。
それは、人それぞれの性格や価値観などに基づいて人生を過ごしているからである。
そうして、相談者は今までの人生において選択をしてきた実績がある。
このたびの相談においても、クライアント自身の考え方があるはずで、その点をFPはしっかり理解して尊重しなければならない。

FPの役割は、クライアントをFPが行くべきと思う方向に連れていくのではなく、クライアントがいる場所に一緒にいることである。
そしてクライアントが欲していることを明白化することを手伝い、実行を手伝うことである。

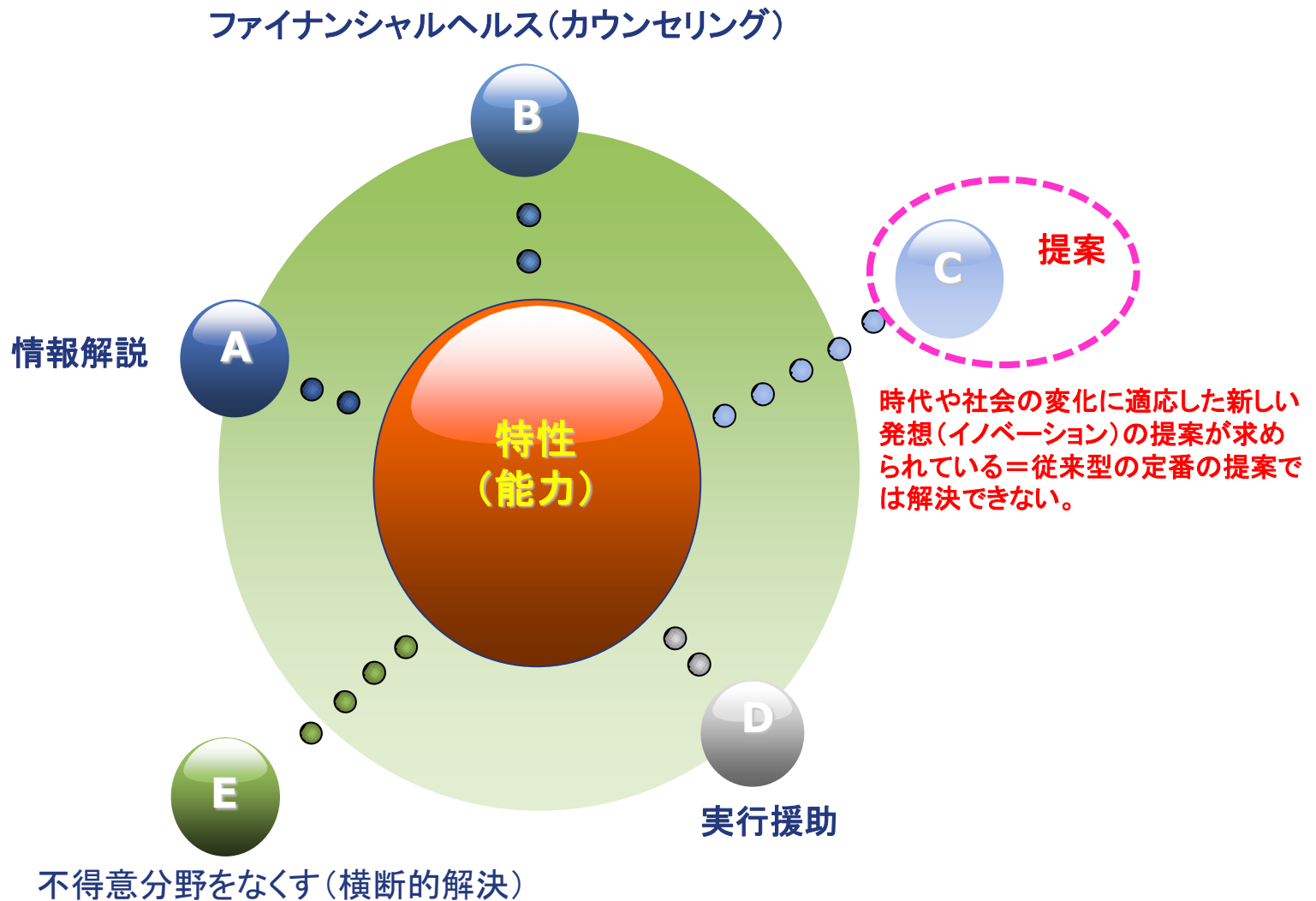


「聴く」・「傾聴」といったカウンセリングスキルが必要

質の高いFP相談に必要なカウンセリングスキル



これからの時代、FPに求められるイノベーション



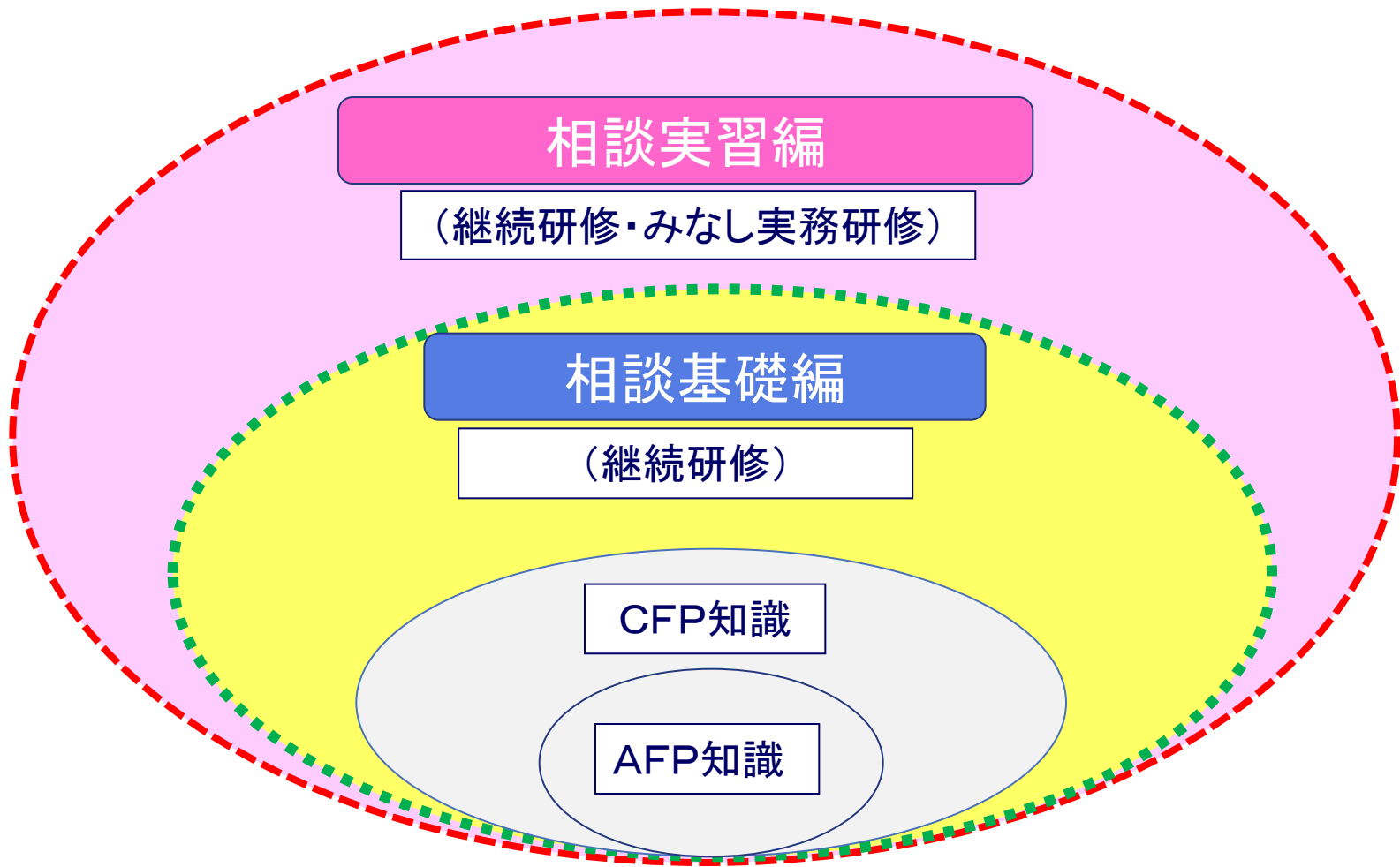
FPの実務知識が求められる相談事例

【FPの課題として】

- ◎FPの6分野という限られた守備範囲
- ◎「関連業法の順守」(税理士などの専門領域を侵してはならない)
- ◎クライアント自身がネット検索などで得る知識や情報との関連性



FP実務修習講座の特長



「相談基礎編」と「相談実習編」

相談基礎編＜インプット編＞
(継続研修)

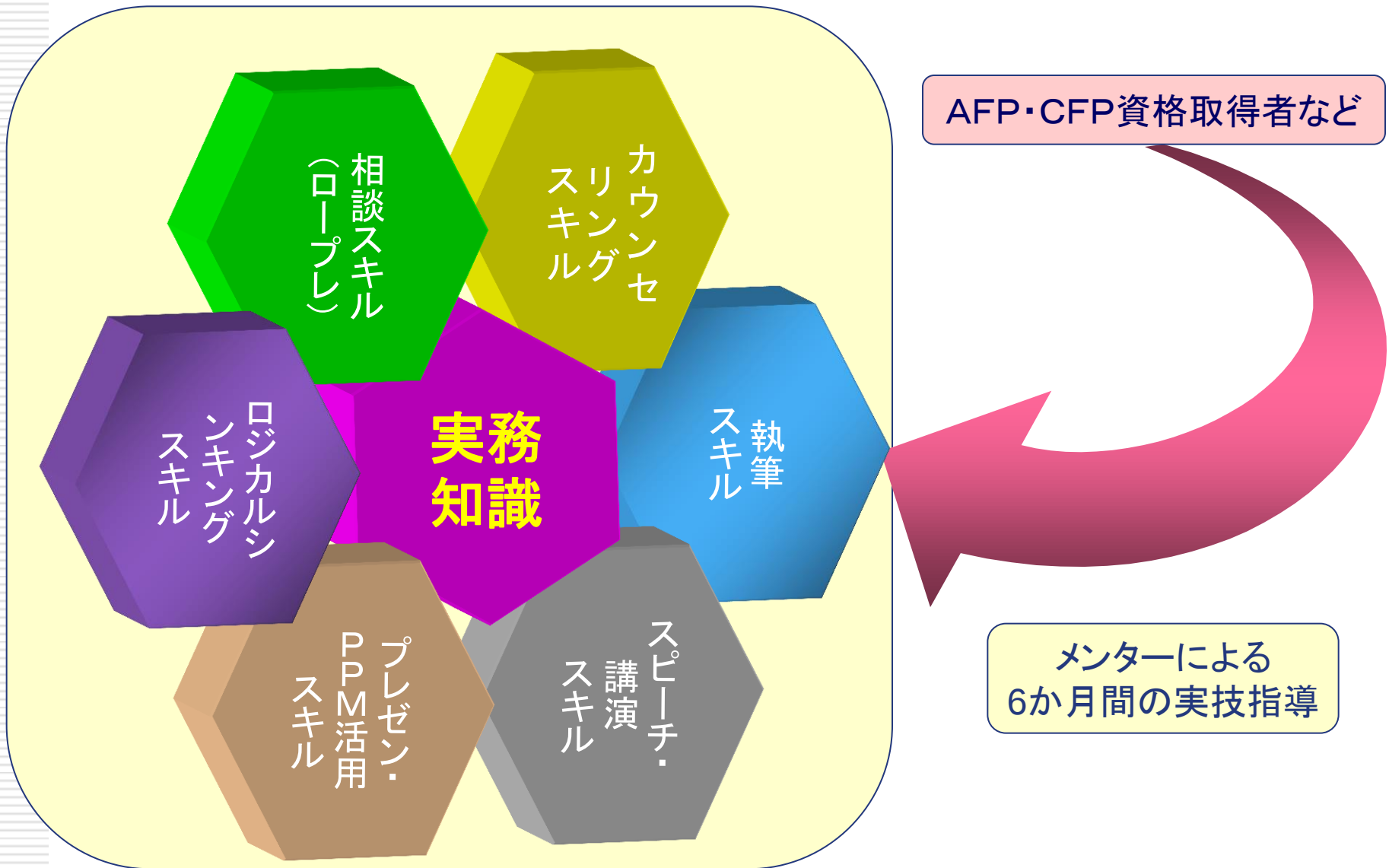
FP試験で身に着けた知識を
どのようにFP業務に役立たせて
いくかを習得

相談実習編＜アウトプット編＞
(継続研修・みなし実務研修)

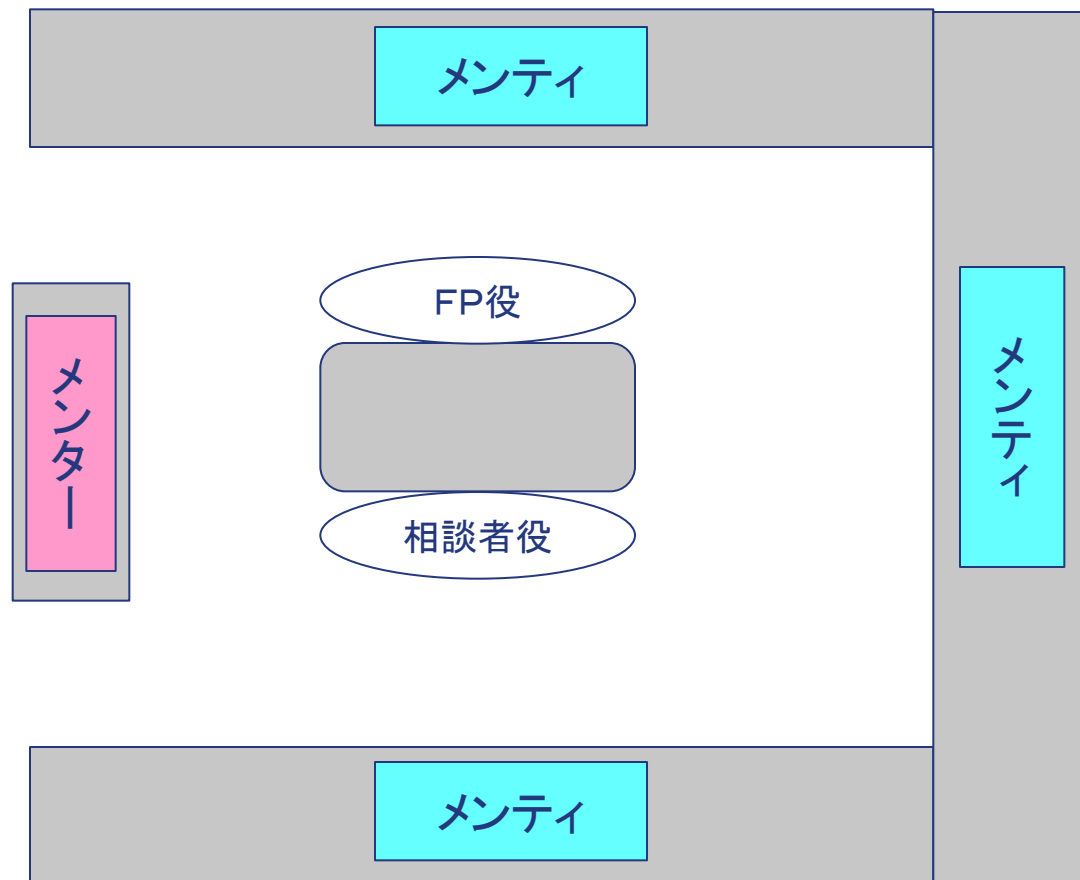
相談実習としてロールプレイング
を行い、相談、執筆、講演、
プレゼン等の技能を実習



FP実務修習講座（相談実習編）で行う実技



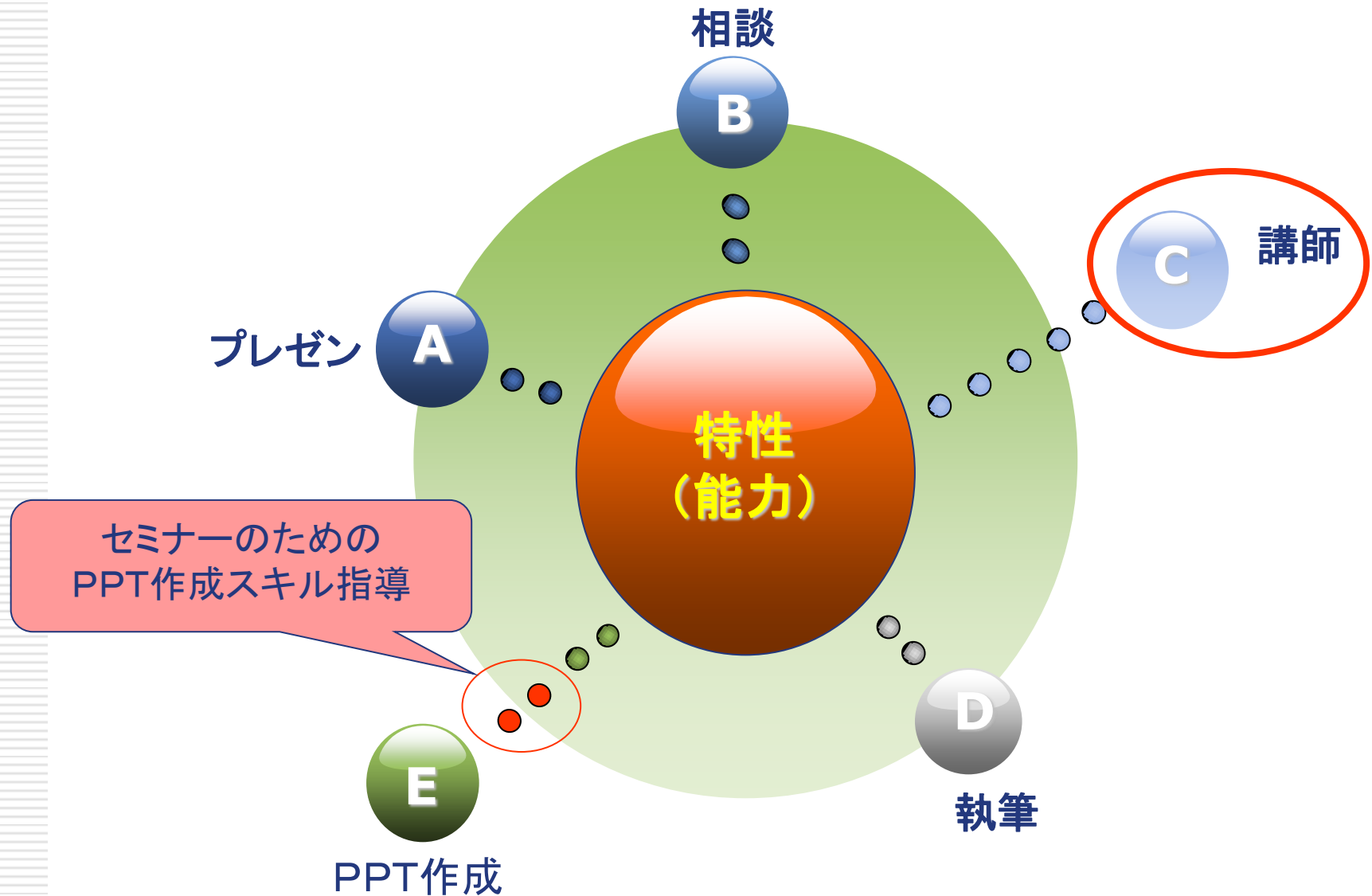
相談ロープレによるスキル習得



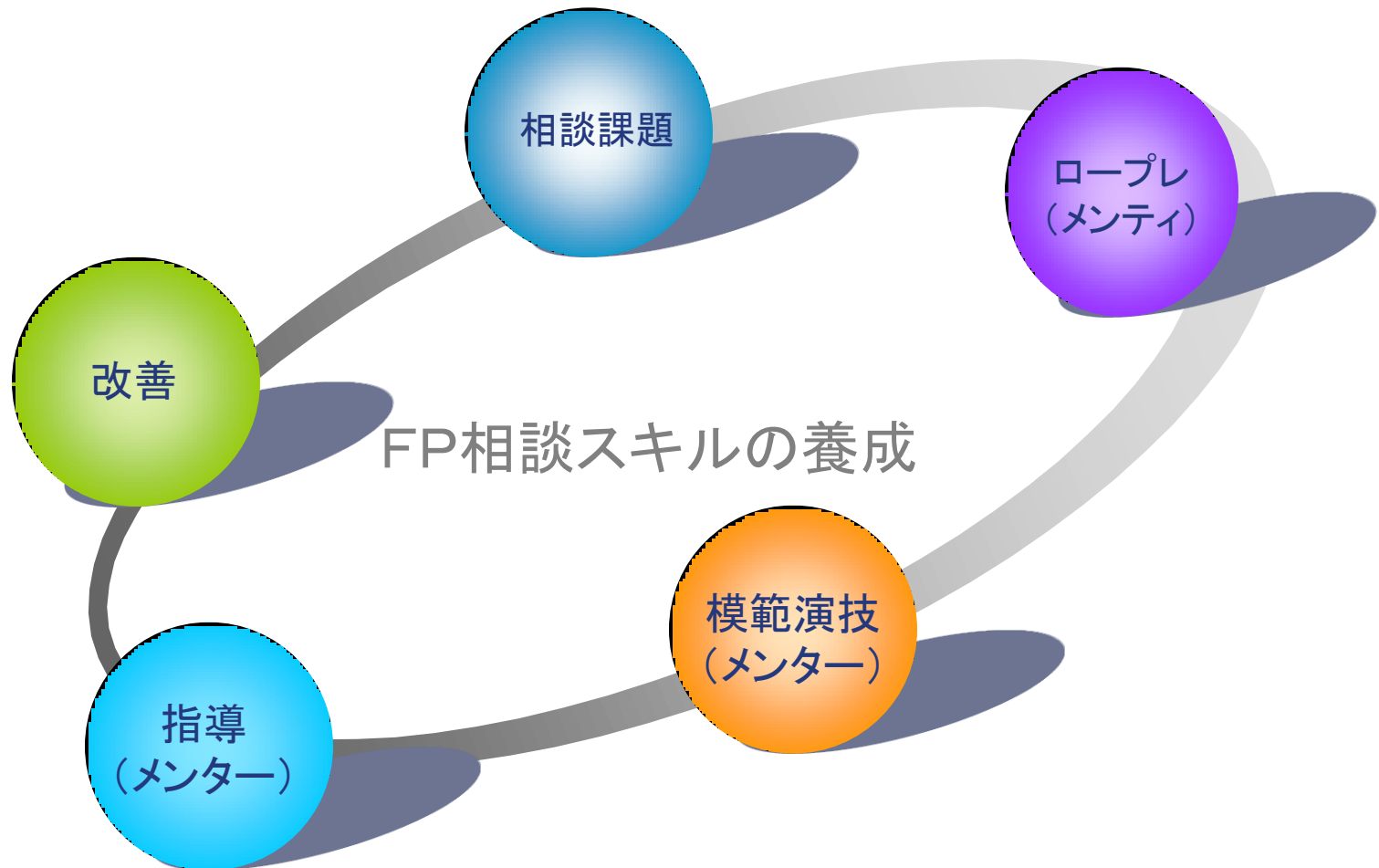
● ロールプレイング

- ◇ 目的: 関係構築・実践・経験
- ◇ 参加者: メンティ全員・メンター
- ◇ 1回の時間: 10分程度
- ◇ 相談内容: 6課目
- ◇ 感想・講評: メンティ
- ◇ 指導講評: メンター
- ◇ 期待効果
 - ・ 関係構築
 - ・ 聴くなどカウンセリング
 - ・ 実務知識の整理
 - ・ 話す
 - ・ アウトプットスキル
 - ・ 経験
 - ・ 自信
 - ・ 指導

メンティの能力を生かしたメンターの進路指導



メンターによるハイレベルな相談スキルの養成



講師プロフィール

紀 平 正 幸（きひら まさゆき）

ライフカウンセラー。ファイナンシャル・プランナー（CFP）。心理カウンセラー。

2008年～2014年多摩大学大学院客員教授（パーソナルファイナンス）

若者から高齢者までの個人のライフプランにかかわる幅広い分野について、テレビのコメンテーターや、公的機関、金融機関、企業、一般生活者などを対象とした講演、執筆、個別相談を行うかたわら、大学付属病院の精神科病棟で心理カウンセリングを行っているなど、経済的な問題にとどまることなく心の問題まで人生の生き方全般について関わっている。

現在「暮らしとお金の救命相談センター」を開設し、生活の困窮者や被災者など経済的にFPサービスを受けられない人を対象に10人のFP仲間と一緒にボランティアで自立支援を行っている。

■ 出演・講演：NHK他民放各社・政府機関・都道府県自治体・金融機関・企業・教育機関、消費生活センター 他

■ 執筆・寄稿：日経・朝日・読売・毎日・東京新聞等、プレジデント・エコノミスト・各種月刊誌・週刊誌 他

○主な 著書：・月刊「NHKラジオ深夜便」コラム連載中（知って安心お金の話）（NHK出版）

・「届け出だけでももらえるお金の本」（PHP研究所）

・「100歳までの作法とお金」（三五館）

・「10万時間の自由」（幻冬舎）

・「日本でいちばん簡単な年金の本」（洋泉社）

・「50歳から老後資金を作る」（宝島）

・「定年後のお金と生き方」（PHP研究所）